

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファンファーレ吉川			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	19
○従業員評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 11月 15日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だとと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型の事業所の為、切れ目のなく支援し続けられる	幼児期から学齢期へと進んでも、理解しているスタッフがいることで、環境の変化による不安を軽減できるようしている	幼児期と学齢期では、支援のアプローチが異なる。学齢期や思春期の心理的変化の理解を深めるよう努める。
2	室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、種々の体験、経験が出来るようしている	休日や長期休暇時にお出かけや買い物などの活動を取り入れ、公共でのマナーを知ったり、お金の使い方買い物の仕方などを学んだり、様々な体験、経験が出来るよう取り組んでいる	現状では、職員が考えるプログラムに取り組んでいる形になっているが、今後は、子供たちが主体的に考え取り組める機会をつくりたい。
3	幅広い年齢層の他児童との関わり	年齢の異なる児童と過ごすことで、日常生活に必要なスキル等を真似しながら習得したり、上下関係を学んだり出来るよう、関わりを大切にしている。	事業所内だけでなく、他事業所や地域の方々と関わる事が出来る活動を考え、実施していく。
4	多方面への送迎 学校や学童、幼稚園、保育所、自宅までの送迎を実施している	保護者の方々の要望に応えられるよう、送迎時間の調整を行うことで、保護者の方の負担軽減につなげている。日々の連絡を密にすることで、要望に応えられるよう努めている。	保護者の要望に対応出来るよう、都度、職員間で話し合い調整を行っていく。事故等おこさないために十分な配慮を行う。

	事業所の弱み(※)だとと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での活動がメインとなっており、個別枠での提供が難しい	個々の要望を直接的に長時間取り入れることが困難な状況	限られた時間内はあるが、ニーズに合わせて充実したアプローチが出来るよう、スタッフの支援力を強化する。また、提供人数が少ない場合は、出来る限り個々に対応出来るよう準備を行う。
2	保護者同士の関わり	保護者同士が顔を合わせる機会が無い	保護者交流会、保護者参観等開催し、保護者同士の関わりや相談の場を提供していく。定期的に親子参加型のイベントを企画していく。
3	地域の場の活用や地域住民との関わり	地域で行われるイベントへの参加、公共施設、公園、店舗利用時の地域の方々との交流機会が少ない。	地域参加型イベントへの積極的な参加、地域ボランティアの受入を行っていく。
4	非常時の対応や安全確保の取り組みについて、保護者の方へ情報がしっかり伝わっていない	災害時、緊急対応マニュアルは整備されているが、保護者の方へしっかりと情報が伝わっていないことが分かった。	保護者の方個々に伝えていくとともに、ホームページ、LINE等を通して情報を発信して行く。